

納涼ビアガーデンで夕涼み 夏の風物詩に多くの人が出

7月19日、商工会青年部主催による『納涼ビアガーデン』が商工会前駐車場において開催されました。

台風の影響によって1日順延となったこの日、気温も上がった会場では、3連休の1日を仲間や家族とともに楽しく過ごそうと多くの人が出で賑わいました。

主催する商工会青年部（森祐介部長）にお話を聞くと「夏にまちを盛り上げたい気持ちで毎年行っており、こうして沢山の人たちに来てもらえると嬉しいし、励みにもなる」と話していました。

来場者も主催者も一体となって、夏の1日を楽しんでいたようです。



手漕ぎボート競漕で 上ノ国チームが優勝



7月5日、江差町で行われた第37回全道北前船漕大会にて、本町から出場した小林建設チームと一心チームが1位、2位を独占しました。

この競技は、漕ぎ手8人、舵取り1人、ドラを鳴らす艇長が1人の1チーム10人が150mを折り返すボートレースで、全35チームが出場しこの日も水上で熾烈な戦いが繰り広げられました。

本町のチームは近年、他の地域の大会でも好成績を数多く残しており、この日も他を圧倒する抜群のチームワークを発揮して優勝、準優勝を勝ち取りました。

管内の障がい者スポーツ大会で 本町チームが優勝！

7月3日、「第43回檜山管内身体障害者スポーツ大会」が厚沢部町で開催され、本町からの出場チームが総合優勝を飾りました。

この大会は、管内で障がいを持つ方々が一堂に会し、スポーツを通じて相互に交流することで、健康に対する意識の高揚などを目的に開催されています。

優勝した本町チームに話を伺ったところ「順位も大事だが、交流は楽しいもので、運動は気持ちがいい。これからもこうした活動は活発に行っていきたい」との言葉がありました。



地域の絆を温める ふれあいサロン活動



木ノ子町内会では、今年から地域の交流促進を目的とした「木ノ子ふれあいサロン」を開催しています。

この活動は、冠婚葬祭などが地域で行われなくなり、地域に住んでいる方が顔を合わせる機会が減ったことから、地域の人々が気軽に集まれる「場」を作ろうと近年広まってきています。町内では中央区町内会が先がけて導入していました。

このふれあいサロンでは、毎回料理作りやカラオケなどのテーマで集まり、ほかに談笑などで近況を伝え合う「見守り活動」の側面もあることから、地域の安心と一体感に大きな期待が寄せられています。